

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月11日 (17:30~19:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 森下、小阪、米田、清水、吉田、渡辺、中西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組めましたか? | 1人 | 2人 | 3人 | 1人 | 7人 |

| 前回の改善計画 |
|--|
| <p>毎月の職員会議・日々の連絡ノートでの情報共有を継続する。 新規利用者に対して、特に初期のサービス提供が安定するまでは、与えられた情報だけに頼らずスタッフ各自が理解を深めるよう取り組む。不安や困りごとの相談ができる関係作りができるよう十分にコミュニケーションを図り、日々の何気ない会話の中の気づきを大切にする。最新情報は皆で共有し、具体的なかわり方やサービス内容は統一するようにルールを作る。</p> |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
| <p>スタッフの情報収集能力は、かなりの個人差がある。同様に、利用者との人間関係作りにも、かなりの個人差がある。それは、スタッフのコミュニケーション能力や、経験や訓練に比例する、あるいは元々の、職員個々の人間力の差ともいえる。 連絡ノートやミーティングを活用し、スタッフ皆が具体的なかわり方やサービス内容を統一するために、日々奮闘している。残念ながら、まだまだ発展途上の段階である。</p> |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか? | | 4人 | 2人 | 1人 | 7人 |
| ② | サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか? | | 5人 | 1人 | 1人 | 7人 |
| ③ | 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか? | 1人 | 6人 | | | 7人 |
| ④ | 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか? | 1人 | 4人 | 2人 | | 7人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|--------|--|
| | 連絡ノートは利用者一人一人分を用意しており、受診内容や、ケア方法などを細かく記載し、チームケアが統一して行えるように努めている。特に、新規利用者に対しては、サービスの場で、気軽に相談して頂けるように、利用者職員との人間関係作りを日々取り組んでいる。 |

| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---------|---|
| | 本人、家族(介護者)が必要としている支援が本当に行えているか、その振り返り・評価は精度がまだまだ低い。本人の声にならない声を拾い切れていない。 |

| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
|---------------|---|
| | 利用者とのはじめの関わりは、人生の終わりへの関わりに通じている。パーソン・センタード・ケアの理念に則った、倫理観や行動が、小規模多機能では、如何なく発揮される環境になっている必要がある。法人理念である、想いとやさしさの伝わるケアは、個別性に配慮したケア、尊厳に配慮したケアであり、それこそがパーソン・センタード・ケアそのものである。そのための職員会議・連絡ノートの活用と、職員個々のコミュニケーション能力向上、人間関係作り能力を今後も高めていく。 |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月11日 (17:30~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

ｽﾊﾞｰ 森下、小阪、米田、清水、吉田、渡辺、中西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | | | 3人 | 4人 | 7人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| 日常の関わりの中から、一人一人の「～したい」の思いを傾聴し、会議などで共有し具体的ななかかわり方を検討する。ゴールにこだわらず目標に向かう過程を大切にしてそのための支援をサービスに取り入れるようにしていく。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
| 日々の業務に追われ、職員が利用者本人から積極的に聞きだすことができていない。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計 (総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|----------|
| ① | 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか? | | | 4人 | 3人 | 7人 |
| ② | 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか? | | | 4人 | 3人 | 7人 |
| ③ | 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか? | | 1人 | 3人 | 3人 | 7人 |
| ④ | 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか? | | 1人 | 2人 | 4人 | 7人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|--|------------------------------|
| 日々の生活に乖離しない、最も基盤となる、生理的な欲求・安全の欲求のような、「～したい」という利用者本人の感情は、ふだんのケアで満足して頂けるくらいは提供が来ている。 | |

| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| そもそもが、本人の自己実現となる「～したい」という欲求を把握できていない。 | |

| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
|---|----------|
| まずは日常的に、一人一人の「～したい」という思いを、職員一人一人が利用者本人から傾聴することができる。 | |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月11日 (17:30~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 森下、小阪、米田、清水、吉田、渡辺、中西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | | | 2人 | 5人 | 7人 |

前回の改善計画
本人との日々の関わりや家族との交流(送迎時、訪問時、電話、面会など)で「以前の暮らし方」の情報を収集し10個以上把握していく。引き続き訪問や入浴支援など個別対応時の関わりの中でも、本人の思いを汲み取り、これからの生活に活かせるよう、記録に残し他のスタッフへ情報提供する。

前回の改善計画に対する取組み結果
「以前の暮らし方」を10個以上も把握できているかとなると、残念ながらその職員は存在しなかった。コロナ禍において、介護の現場は以前のように気軽に会話できる雰囲気とは違ってきている。

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか? | | | | 7人 | 7人 |
| ② | 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか? | | 5人 | 2人 | | 7人 |
| ③ | ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか? | 1人 | 1人 | 1人 | 4人 | 7人 |
| ④ | 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか? | | 4人 | 3人 | | 7人 |
| ⑤ | 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか? | | 4人 | 3人 | | 7人 |

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
入浴や排泄介助や訪問などの、職員1人と利用者との個別な関わりの中で、本人の思いを汲み取るケアがまずは継続して行っている。特に、認知症ケアの実践として、利用者本人の不安軽減や解消に至った事例も多々ある。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方を10個以上把握できていない。以前の暮らしがどうだったのかを、多くは把握ができていない。本人からの聞き取りが難しい時は、家族からの聞き取りが必要であるが、コロナ禍において更にコミュニケーションがあまり取れていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
声にならない声を言語化することは、代弁者になることである。日常生活の支援で、いちばん大切な事は、利用者本人の笑顔を引き出せているかどうかである。そのためには、職員の感性を高める必要がある。また、その感性をミーティング等で、職員間が言語化して共有出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月11日 (17:30~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

刈バ - 森下、小阪、米田、清水、吉田、渡辺、中西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | | 1人 | 3人 | 3人 | 7人 |

| | |
|------------------|---|
| 前回の改善計画 | 利用者それぞれの地域での暮らしを支援するために、本人や家族・地域の方から情報をえて、生活スタイルや人間関係を理解しておく。また、現在利用している社会資源・地域資源などがあれば、それがどのようなものなのかを把握しておく。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | 利用者本人と家族の人間関係はある程度把握できている。しかし、利用者本人と地域との関わり、地域資源はあまり把握できていない。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか? | | 2人 | | 5人 | 7人 |
| ② | 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか? | | 3人 | 2人 | 2人 | 7人 |
| ③ | 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか? | | 2人 | 1人 | 4人 | 7人 |
| ④ | 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか? | | | 2人 | 5人 | 7人 |

| | |
|--------|--|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者本人と家族との凝集性(結びつきの度合い)などを把握し、利用者本人と家族の相互協力関係や支持的関係にある程度把握できている。 |
|--------|--|

| | |
|---------|---|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 民生委員や地域・近所の方などの関わりが把握できていない。これまでの生活スタイルが把握できていない。コロナ禍の時代となり、民生委員や地域資源との関わりが薄くなり接することがない。 |
|---------|---|

| | |
|---------------|---|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) 地域での暮らしの支援は、自助と互助の醸成の支援である。地域での本人のセルフ能力を高め、他者との助け合いの精神を育めるように、小規模多機能で利用者と向き合っていく。小規模多機能での居場所づくりと役割(出番)づくりを支援する。その上で、地域との結びつきに発展させていく。 |
|---------------|---|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月11日 (17:30~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

刈バ - 森下、小阪、米田、清水、吉田、渡辺、中西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組めましたか? | | 2人 | 1人 | 4人 | 7人 |

| 前回の改善計画 |
|--|
| 日々の関わりの中で、本人や家族の心身の変化が見られた時には、必ず記録に残し情報をスタッフ間で共有して、適時適切な支援を行う。特に、緊急時には即時に対応できる支援体制を整えておく。支援にあたっては、介護サービスだけではなく、それぞれの地域資源も活用しながら、柔軟なサービスの提供ができるようになる。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
| 体調の悪化・急変などは、医師と確認相談しながら、必要に応じて即時の「泊り」サービスを提供するなどができている。しかし、介護サービス以外の地域資源の活用で、柔軟なサービスが提供出来ているかとなると、ほとんど出来ていない。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|---|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか? | | | 3人 | 4人 | 7人 |
| ② | ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか? | | 1人 | 3人 | 3人 | 7人 |
| ③ | 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか? | | 3人 | 3人 | 1人 | 7人 |
| ④ | その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか? | | 3人 | 2人 | 2人 | 7人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の体調や家族の都合に合わせて柔軟なサービスをある程度は提供している。 |
|--------|---|
|--------|---|

| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍のため地域との交流がない。地域の行事に参加できていない。地域の資源を使った支援もあまり出来ていない。 |
|---------|---|
|---------|---|

| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) 日々の関わりの中で、本人や家族の心身の変化が見られた時には、必ず記録に残し情報をスタッフ間で共有して、適時適切な支援を行う。特に、緊急時には即時に対応できる支援体制を整えておく。コロナ禍の困難な時代にあり、地域資源の活用については、必要に応じて、支援方法を随時検討していく。 |
|---------------|---|
|---------------|---|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月11日 (17:30~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 森下、小阪、米田、清水、吉田、渡辺、中西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | | | 1人 | 6人 | 7人 |

| 前回の改善計画 |
|--|
| 管理者・ケアマネージャーだけでなく、直接ケアを行っているスタッフもサービス担当者会議や運営推進会議などに参加できる機会を作る。 地域の活動や行事に参加するために、地域との関係を構築するとともに、参加できる体制を整える。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
| 運営推進会議等に直接ケアを行っているスタッフが参加する事は、現場のスタッフの負担を考えると、現実的ではない。また、コロナ禍にあって、地域に開かれた福祉施設かどうかとなると、コロナ禍による後退および発展途上の状態である。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか? | | 2人 | 1人 | 4人 | 7人 |
| ② | 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか? | | | | 7人 | 7人 |
| ③ | 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか? | | | | 7人 | 7人 |
| ④ | 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか? | | 2人 | 2人 | 3人 | 7人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること |
|--------|---|
| | 受診同席等を活用し医療機関との関わりを行っている。担当者会議を通じて関係者が情報共有を行うとともに、今後の生活をどう支援していくかを検討している。 |

| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること |
|---------|--|
| | コロナ禍ということもあって、自治体など直接かかわることがない。地域活動や行事の情報がなく、全く参加できていない。 |

| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) |
|---------------|---|
| | まだまだ地域の自治体、住民の方との関わりが築けていない。今後は新型コロナの感染状況等を考慮しながら、イベント等を企画し、地域の方との交流の機会を増やしていく。 |

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月11日 (17:30~19:00)

7. 運営

ｽﾊﾞｰ 森下、小阪、米田、清水、吉田、渡辺、中西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | | | 4人 | 3人 | 7人 |

| | |
|------------------|--|
| 前回の改善計画 | 地域との関わりが十分でなかったため、地域の活動やイベントへの参加、事業所として地域でどのような役割を担うことができるかを考える。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 | 地域との関わりはあまり構築できていない。地域の活動やイベントへの参加も殆ど出来ていない。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか? | | 2人 | 2人 | 3人 | 7人 |
| ② | 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか? | | 4人 | 2人 | 1人 | 7人 |
| ③ | 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか? | | 2人 | 4人 | 1人 | 7人 |
| ④ | 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか? | | | 2人 | 5人 | 7人 |

| | |
|--------|--|
| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者や家族から意見や苦情があれば、速やかに対策を講じるようにしている。 |
|--------|--|

| | |
|---------|---|
| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域との関わりが少なく、地域からの意見や協働した取り組みはできていない。コロナ禍の自粛の時代にあって、地域の方たちの意見や要望を聞く機会がない。 |
|---------|---|

| | |
|---------------|---|
| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) 地域に必要とされる拠点であるために、事業所として切磋琢磨し、家庭的な雰囲気(環境)づくりや、ケアの質の成長を探求し続ける。施設の見学会等を定期的実施していく。コロナ禍ではあるが、地域からボランティアを招いてのイベントを検討し開催する。 |
|---------------|---|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月11日 (17:30~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 森下、小阪、米田、清水、吉田、渡辺、中西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | | 2人 | 2人 | 3人 | 7人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| 内部研修会への参加は継続していく。参加できなかったスタッフに対しては資料を入手し回覧する。資格取得・自己啓発を目的とした研修の案内や情報は自ら調べて、受講の意向を伝える。事業所は参加できるよう環境を整える。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
| 内部研修会等の研修に参加できなかったスタッフには、研修資料を配布するなどしている。また、研修内容を共有するために、職員会議等で重要な項目を報告している。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|-----------------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか | 1人 | 2人 | 1人 | 3人 | 7人 |
| ② | 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか | 1人 | 1人 | 2人 | 3人 | 7人 |
| ③ | 地域連絡会に参加していますか | | | | 7人 | 7人 |
| ④ | リスクマネジメントに取り組んでいますか | 1人 | 1人 | 3人 | 2人 | 7人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 随時、職員会議と共に内部研修を実施している。スキルアップ研修は、事業所に必要な最小限のことしか行っていないのが現状。 |
|--------|--|
|--------|--|

| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 資格取得のための研修、外部への研修参加はあまりできていない。連絡協議会への参加もコロナ禍で見合わせている。 |
|---------|--|
|---------|--|

| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) 内部研修会に参加できなかったスタッフに対しては資料を配布する。資格取得・自己啓発を目的とした研修等には、スタッフが参加できるように、事業所として勤務調整に配慮するなどの環境を整える。 |
|---------------|---|
|---------------|---|

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年3月11日 (17:30~19:00)

9. 人権・プライバシー

参加者 森下、小阪、米田、清水、吉田、渡辺、中西

◆前回の改善計画に対する取組み状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 前回の課題について取り組みましたか? | 1人 | 3人 | 2人 | 1人 | 7人 |

| 前回の改善計画 |
|---|
| 継続して身体拘束・虐待の研修会に参加し、それにつながる要因を作らない。成年後見制度についての勉強会に参加し、制度について理解する。 プライバシーにかかわることは、自分や自分の家族に置き換えて、こうして欲しい、こんな風にはして欲しくないとの思いを持って対応する。 |
| 前回の改善計画に対する取組み結果 |
| 身体拘束・虐待については勉強会を通じて定期的に確認を行うようにしている。プライバシーについては、声かけや情報を共有する際、場所や声の大きさに配慮できていないことがまだまだある。例えば、本人の前で排泄に関する情報等の意見交換などが該当する。 |

◆今回の自己評価の状況

| 個人チェック集計欄 | | よく できている | なんとか できている | あまり できていない | ほとんど できていない | 合計(総人数) |
|-----------|--------------------|-------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| ① | 身体拘束をしていない | 7人 | | | | 7人 |
| ② | 虐待は行われていない | 5人 | 2人 | | | 7人 |
| ③ | プライバシーが守られている | 5人 | 2人 | | | 7人 |
| ④ | 必要な方に成年後見制度を活用している | | 1人 | 4人 | 2人 | 7人 |
| ⑤ | 適正な個人情報の管理ができている | 4人 | 2人 | 1人 | | 7人 |

| できている点 | 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の人権やプライバシーに配慮したサービスを継続して行っている。身体拘束・虐待防止について学び、決して起きないように意識して業務にあたっている。 |
|--------|---|
|--------|---|

| できていない点 | 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見人制度について知る機会や、活用の場があまりなく、また理解もあまりできていない。 |
|---------|--|
|---------|--|

| 次回までの具体的な改善計画 | (200字以内) 身体拘束・虐待防止の研修を通じて学び、身体拘束・虐待につながる要因を日頃から作らないようにする。成年後見制度についての勉強会に参加し、制度について理解をする。プライバシーにかかわることは、権利擁護や認知症ケア等を通じて学び、日々接する利用者本人に、適切なケアを提供できるように切磋琢磨する。 |
|---------------|---|
|---------------|---|

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|-----|----------------|-----|--------------|-------------------|--|
| 法人名 | 社会福祉法人 愛あい会 | 代表者 | 理事長 前田 計子 | 法人・ 事業所 の特徴 | 前田医院を母体としたグループに所属する事業所である。併設の地域密着型特別養護老人ホームとは、行事を通じ交流を図りなじみの関係を作ることができている。敷地内にある庭は、手入れが行き届き一年中季節の花を観ることができる。閑静な住宅街にあるため、天気の良い日には、事業所周辺を散歩するのが楽しみの一つとなっている。「思いとやさしさの伝わるケア」の理念のもと、できるだけ住み慣れた地域で暮らしたいと願う方のために「通いサービス」「訪問サービス」「泊まりサービス」の3つのサービスを組み合わせたサービスを提供している。 |
| | ハートフル成田東 | 管理者 | 森下 哲也 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|----|
| | 人 | 人 | 人 | 人 | 3人 | 人 | 人 | 2人 | 人 | 5人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|----------------|---|--|--|---|
| A. 事業所自己評価の確認 | 事業所評価での改善計画ができるよう、職員各々が、目標（苦手の克服）を持って業務にあたる。 | 新型コロナウイルス感染症や、職員の入れ替わりもあり、年度を通じての改善計画の取組みは、困難なものがあった。 | 常勤職員を中心に自己評価を行い、次に取り組みようとしている姿勢は伝わった。前回の改善計画に対し、具体的な取組みが行われているか、わからないという意見があった。 | 改善計画を現職員にしっかり提示し、また、新たな職員にもその都度、提示することで、『改善』の意識を常に高めた状態である。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | 毎日掃除を行い、玄関まわりの清潔を保つ。季節の飾りつけや小物を置くことで話題づくりにつながる。家庭的な雰囲気でもが入りやすい空間を目指す。 | 常に家庭的な雰囲気は目指しており、玄関の掃除は基本として、季節の飾りについては、利用者と手作りのものを活用するなどの、取組みが年を通じて行えている。 | 事業所には入りやすさを感じている。不快な音や匂いもなく、居心地の良い空間になっていると思うという意見。その一方で、事業所の外観は見えても、中に入ったことがないので、わからないとの意見もあった。 | 家庭的な雰囲気と、居心地の良い空間の両立を今後も追及していく。特に、施設周囲の庭には四季折々の花があり、利用者が望めば、ぶらりと出て、お茶を飲みながら、花を愛でることのできるような、そんな事業所でありたい。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | 事業所の取組みを運営会議や広報誌で伝え、事業所について知っていただく。また、地域の方のボランティアを依頼し地域の関わりを継続する。 | 天気の良い日には、ご利用者と一緒に地域を散歩することで、事業所の存在感をさりげなくアピールすることが出来ている。 | コロナ禍で交流は難しいものがあると思うが、機会があれば事業所のスタッフが、地域の活動と一緒に参加することもよいのではとの意見をいただく。 | 地域の方々が参加する介護予防教室や、イベント等に参加するなどして、事業所外の地域住民との交流を広げていく。 |